



Unified Functional Testing の インストール・クイックスタート・シート

このシートは、Unified Functional Testing (UFT) の基本インストールを実行する手順を説明しています。UFT インストールのすべての要素に関する完全な詳細は、『HP Unified Functional Testing インストール・ガイド』にあります。

インストールの前に

- ▶ **アップグレード** : QuickTest 9.5 以降または Service Test 10.00 以降のバージョンから移行する場合は、旧バージョンの QuickTest または Service Test がインストール・プロセスによって自動的にアンインストールされ、UFT がインストールされます。QuickTest 9.2 以前がインストールされている場合は、インストールされているバージョンを手動でアンインストールしてから UFT をインストールする必要があります。
- ▶ **サイレント・インストール** : UFT は、MSI サイレント・インストール・メカニズムをサポートしています。詳細については、『HP Unified Functional Testing インストール・ガイド』を参照してください。

インストールの手順

1 前提条件 :

UFT をインストールするドライブに対する管理者権限があることを確認してください (ドライブは、ローカル・ドライブであることが必要です)。インストール時に問題が発生した場合は、ほかの Windows 設定の調整が必要なこともあります。『HP Unified Functional Testing インストール・ガイド』の「必要なアクセス権限の設定」の項を参照してください。

サポートされているバージョンの Internet Explorer がインストールされていることを確認してください。システム要件の詳細については、『HP Unified Functional Testing Readme』を参照してください。

使用するライセンスの種類を確認しておいてください。コンカレント・ライセンスを使用する場合は、ライセンス・サーバ URL を用意してください。

GUI テストに対してインストールするアドインを確認しておいてください。使用するアドインのみをインストールします。

2 インストールを開始します。

起動画面が開いたら、[**Unified Functional Testing のセットアップ**] を選択します (起動画面が自動的に実行されない場合は、コマンド・ウィンドウで次のパスを入力します : <DVD ドライブ>/setup.exe)。

3 画面の指示に従ってください。

インストール中に

インストールの追加要件画面 :

インストールが必要な要件のみを選択してください。オプションは、**スタート・メニュー**からすべてインストールできます。インストールの追加要件の詳細については、『HP Unified Functional Testing インストール・ガイド』を参照してください。

使用しているネットワークで特別な DCOM 設定が必要な場合は、[**DCOM の構成設定**] オプションをクリアしてください。DCOM 設定の手動構成の詳細については、『HP Unified Functional Testing インストール・ガイド』を参照してください。